

～ 湘北地区の世帯数・人口～		
地域	世帯数	人口
鶴が台一街区含む	2,461 (-5)	4,613 (-110)
香川	4,588 (-8)	11,423 (-101)
松風台	603 (-3)	1,507 (-16)
甘沼	2,065 (+25)	5,362 (+7)
みずき	1,116 (+17)	3,182 (+56)
湘北地区	10,833 (+26)	26,087 (-164)
茅ヶ崎市	98,532(+1,189)	238,559(+955)

・2015年8月1日現在〔()内は対前年比〕



発行日 2015年10月 1日

第45号

発行者 湘北地区社会福祉協議会
会長 吉田 正一

発行部数 9,100部

『湘北』は、毎年10月と3月に発行しております。

「湘北地区社会福祉協議会(湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

平成27年度の活動について

「社会福祉」とは

社会福祉とは、高齢者、障害者、未成年者など、生活上なんらかの支援や介助を必要とする人に対し、生活の質を維持・向上させるための相互援助活動を行うことです。

「湘北地区社協の活動」とは

私たち湘北地区社協は、地区の「生活の福祉と厚生増進に関する活動」という主旨で活動しています。
ボランティアによる支援活動、住民のふれあいを目指したサロン活動、「ボランティア入門講座」、「健康・福祉講座」、「地域福祉を考える懇談会」の開催、地域の交流のための「公民館まつり」の行事への参加等を行っています。

(詳細は裏面を参照下さい)

「具体的な活動」として

- 1) 各自治会地域の社協活動の推進と充実
- 2) 健康づくり、福祉活動等、地区で求められる課題を取上げた講座の開催
- 3) 改訂介護保険制度、「まちぢから協議会」や「地域ケア会議」への対応。さらに「豊かな長寿社会にむけたまちづくり」のモデル地区の指定に対する地区内外の行政・福祉関係団体との交流・協力や意見交換
- 4) ボランティアセンターの活動
- 5) 上記活動の広報と周知

近年、当市でも高齢化の進展に対処する種々の施策が進められており、本年度はこれまでの活動を推し進めながら更なる充実を目指して「身近な一歩」を加えたいと願っています。

実績を残すことが出来ました。

有意義な活動を紹介する等、社協大会で当会の活動を紹介する等、



昨年度は会員のご協力により種々の事業を実践し、福祉大会で当会の活動を紹介する等、

平成二十七年年度の所感

会長 吉田 正一

湘北地区社会福祉協議会会長の挨拶

本年は介護保険制度が改正され、平成二十九年度までに多くの要支援者の支援を民間業者、ボランティア団体等、社協も含めて多くの団体が担っていく体制が形成されます。

又、当地区は「豊かな長寿社会に向けたまちづくり」のモデル地域に指定され、さらに、新しい地域コミュニティ「まちぢから協議会」や、地域での包括ケアシステムの構築を目指す「地域ケア会議」事業が推進され、当会も含めた多くの団体・組織が参加しております。

この結果、私どもも地区社協の役割も多方面にわたることになり、これらについて皆様の一層のご理解とご協力を願う次第です。

《鶴が台一街区》

各自治会と地域社協の紹介

《みずき》

- 1) 自治会設立：1967年(昭和42年)
- 2) 社会福祉協議会設立：2007年(平成19年)
- 3) 地域全世帯数：104世帯
- 4) 自治会会員数：104世帯(加入率 100%)
- 5) 自治会費(年額)：9,600円
- 6) 自治会組織：役員 10名
 - ① 自治会長1名、副会長2名、事務局長1名、事務局次長1名、財政部長1名、防災部長1名、環境部長1名、会計監査2名
 - ② 各棟幹事5名(各棟1名)
 - ③ 班長20名(各階1名×4階×5棟)
- 7) 自治会助成団体(組織)
 - 「防災会」、「つるいち(鶴が台1街区)社会福祉協議会」、「子供会」
- 8) 自治会と地域社協の主な活動
 - ① 自治会
自主防災会との共同作業、団地祭り、各種講習・勉強会、慰労会
 - ② つるいち社会福祉協議会
ほほえみサロン(毎月第2、第4水曜日、年24回)、子供とお年寄りの交流会、食事会、各種講習・勉強会(自治会共催)
- 9) 今年度の活動目標
 - ① 自治会
 - ・隣人とのコミュニケーションを通じ、相互信頼を築き親睦と融和を図り、皆が仲良く暮らせる団地づくり。
 - ・自治会組織の見直し
 - ② 対話を通じ、孤独感(ひきこもり等)を少しでも解消して、明るく楽しい地域づくり。

- 1) 自治会設立：2006年(平成18年)
- 2) 地域全世帯数：1,116世帯
- 3) 自治会会員数：751世帯(加入率 67%)
- 4) 自治会費(年額)：3,600円
防犯カメラ維持費(年額)：2,400円
- 5) 自治会組織：役員 23名
自治会長1名、副会長2名、総務委員長1名、広報委員長1名、環境委員長1名、福利厚生委員長1名、防災委員長1名、防犯委員長1名、体育委員長1名、書記2名、会計1名、会計監査2名、区長8名。 班長 61名
- 6) 自治会助成団体 「みずき子供会」
- 7) 社協組織
「カフェみずき」、「みずきッズ」、「囲碁・将棋サロン」
- 8) 自治会と地域社協の主な活動
 - ① 自治会
一斉清掃(年2回)、夏祭り、自主防災訓練、ウォークラリー、区毎のお茶会、防犯パトロール
 - ② みずき社会福祉協議会
カフェみずき(毎月第3木曜日)、みずきッズ(毎月第1、第3木曜日、年24回)、囲碁・将棋サロン(毎月第1、第3日曜日)
敬老の日(自治会共催)、
- 9) 今年度の活動目標
自治会発足10周年記念行事、自主防災マニュアルの策定、防犯カメラシステムの更新

分科会活動テーマの報告とお知らせ

第9回 ボランティア入門講座

「ボランティア活動ってどんなことをするの?」、「介助や介護のお手伝いをしたいのですが?」とお思いのあなたに。

湘北地区社会福祉協議会では、多くの方にボランティア活動を知って頂くため、日ごろ活動の実践をされている牧岡先生を講師に招いて「ボランティア入門講座」を開催いたします。

講義から体験学習まで全4回、4回受講された方には修了証をお渡しします。ぜひご参加下さい。

(於保 剛)



牧岡先生の講義



グループワーク

日程：11月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金) 全4回
時間：10時～12時(13日のみ9時45分～)
場所：香川公民館
募集人数：25名
申込み締切り：10月26日(月)
主催：湘北地区社会福祉協議会、茅ヶ崎市社会福祉協議会

＜入門講座内容＞

- 1回(11月6日) 「ボランティア活動とは」講師 牧岡 英夫氏 分りやすいお話で毎回好評!
- 2回(11月13日) 体験学習「車椅子の操作、アイマスク・誘導体験、インスタントシニア体験」
- 3回(11月20日) 湘北地区にある施設や団体、ボランティアグループの活動紹介
- 4回(11月27日) グループワーク、及び、講座のまとめ

お問い合わせ、申込み 湘北地区ボランティアセンター 電話27-2030

お子様の手が離れた若いお母さんの参加也大歓迎!です。ご参加をお待ちしています。

健康・福祉講座

健康福祉講座では、地域の皆様の健康維持に役立つ講演会を、毎年二回開催しています。

今回の講座では、湘南藤沢徳洲会病院より理学療法士の先生を講師にお招きして、「膝と腰の痛み」をテーマにお話しいただきます。



活の中で腰痛や膝痛を予防するためには注意すべきポイントや、それらの痛みを改善するために行う体操や筋肉トレーニングについて、分りやすく解説いただく予定です。

膝や腰の痛みで日々お悩みの皆様は、ぜひともご参加下さい。

テーマ「膝と腰の痛みを予防改善するためのお話と体操」

日時 平成27年11月5日(木) 午後2時～3時

場所 香川公民館

(中島 正幸)

公民館まつり

香川公民館まつりが10月24日(土)25日(日)の2日間開催されます。

サークルの日頃の活動成果の発表や学習成果の展示等、色々な催しがあり、地域の大勢の方が参加し毎回大盛況です。

今回のテーマは「行ってみよう!何がはじまる公民館」です。

湘北地区社会福祉協議会は、10月24日(土)に、例年通り玄関広場を使い、好評の綿菓子、コーヒ、ウーロン茶に加えて新しく駄菓子などを販売いたします。

地域との交流を図る機会として模擬店を出店し、湘北社協のPRをし、活動の理解を深めています。皆様のご来場をお待ちしています。

(渡邊 雅史)



10年目 地域福祉を 考える懇談会

湘北地区が子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、だれでも安心して暮らせる地域となるように考える懇談会です。

湘北地区にある福祉施設・福祉団体・グループに参加していただき、その活動内容の紹介・情報・意見交換等を年に4回行っています。



グループ討議

「まち探検も今年で7回目です。昨年は香川地区にある7つの福祉施設を見学しました。自分たちの街にある施設を知る機会になったと好評でした。

今年12月20日(日)に甘沼地区の施設見学を中学生を交えた世代間交流の場にもなるよう準備しています。



まち探検の様子

福祉施設銀座と言われる湘北地区ですが、住民は案外知らないことが多いのです。

(佐川 美智子)

湘北地区の「ミセン」の設置について

茅ヶ崎市内の12地区に順次地域集会所施設(コミュニティセンター)を準備することになっており、現在10地区まで設置され、残っている湘北と松林地区は、平成28年度からの総合計画第3次実施計画で整備する運びです。

自治会連合会が検討の受け皿になっていますが、地域として考えるための「検討組織」を地区内の関係団体へ呼びかけて「湘北地区コミセン問題意見検討会」を作り、今まで3回の会合を持って地区の意見をまとめました。

市の提案は、我々が考えていた「湘北の中央にコミセンを整備する」のではなく、現在の香川公民館を雇用促進住宅跡地に新築移転し、今の公民館をコミセンに転用するという変則的なものだった。

意見交換会では「公民館の移設は、これまでの活動に大変支障が出るので困る。公民館は現在地に残してほしい」「コミセンは、やはり地区の中央部に設置を」との考えにまとまり、今後、さらに市との話し合いを行うことになっております。

(青木 有俱)



高砂コミュニティセンター

広報分科会

- 今西 夫 (代表・みずき)
- 湯川 さだ子 (会計・甘沼)
- 鈴木 玲子 (書記・香川)
- 香澤 幸一 (香川)
- 真下 敏一 (香川)
- 長嶋 まり子 (香川)
- 津島 三二 (甘沼)
- 澄川 篤 (甘沼)
- 竹松 和男 (松風台)
- 青木 有俱 (鶴が台)

写真は昨年度の様子です